

B-78 衣服寸法に関する研究 (第2報)
小・中学生の胸部形態の年齢的变化

福島大教育 高橋キヨ子
聖和学園短大 ○雁部 愛
会津短大 甲野藤ウタ

1. 昭和41年度に行なった福島市の小学生(6歳~11歳), 中学生(12歳~14歳), 男女各50名ずつ, 合計900名の身体計測結果を用いて被服構成学の立場から, 胸部形態の年齢的变化について考察を試みた。(被検者の主な成育地は福島市であって, 両親の出身地は共に福島県である)。

2. 研究項目は, 胸囲・胸部横径・胸部矢状径・胴囲・胸部横径・胸部矢状径・腰囲・腰部横径・腰部矢状径の計測値9項目と, 胸部矢状径/胸部横径・胸部矢状径/胸部横径・腰部矢状径/腰部横径の計算値3項目であって年齢別・性別に集計整理を行なった。

3. 結果の一部はつぎのようである。

a 胸部・胴部・腰部における周径と横径の増加の様相からみた, 小・中学生の胸部形態は年齢の進むにしたがい, ずん胴の体型より胴のくびれた体型に移行する。その傾向は, 女子は男子よりかなり強い。

b 胸部矢状径/胸部横径は男女共に年齢の進むにしたがい増加する傾向にあり, 胴部矢状径/胸部横径・腰部矢状径/腰部横径は減少の傾向をたどる。